



←朝鮮通信使行列と広島FFに参加

朝鮮通信使世界記憶遺産
☆近国連ユネスコ世界遺産登録は平成29年1月18日、なまくら市長と1月3日、島田市長が観花島まつり連日光田神社に植樹した日を共効と。に取同果が世界にあり無に申され、請ります。北の原記憶2018年1月18日、なまくら市長が観花島まつり連日光田神社に植樹した日を共効と。に歴史文化国際交流につながりががが観花島まつり連日光田神社に植樹した日を共効と。に



鮮中しに仲残4方の〇教
半國て北負が朝りは1章の子〇の人類の
島に大朝えい半島供〇人が人類の歴史
と直陸鮮とませいと日本民族は兄弟でし
接と中島と日本民族は兄弟でし。ヤ教の歴史
つつつ中は最も強です。ケンカの一部はラム
なががるこ由化N A . Y染色体が始ま
交流を推進する必要がありまく道半Eま
す。難しめる朝鮮D通手、。2東人4ム
てで島系もすを列とですが、2東人4ム
朝。通手、。2東人4ム

【答弁】
議ま今後も誘客促進につなげたいと考
議会や朝鮮通信使ユネスコ連絡協議会
に参りたいと考えております。
内関係市町や広島県観光連盟をはじめとする
関係団体等と情報発信などで連携を図りながら、
NPO法人、朝鮮通信使ユネスコ連絡協議会
を通じて連携を図り、部会などで、連絡協議会
で、連携を図り、国際交流を深めろ。

令和3年6月一般質問 岡崎源太朗
【質問】
世界遺産の広島市原爆ドーム、廿日市市
の広島市原爆ドーム、廿日市市
の北広島町王生の花田植
が国連と神社、世界遺産の吳市朝鮮通信使の4つの花田植
連携を取れば歴史・文化観光に効果がありま
ると思われます。連携についてお尋ねします。
連携についてお尋ねします。

ありがとう通信

呉市議会議員 岡崎源太朗

海上自衛隊出身 岡崎源太朗後援会



朝鮮通信使
090-2805-4718

ワン切りいただきとかけ直します

<http://oka.genin.jp>
gentarounet@yahoo.co.jp
gentarounet@gmail.com



つばき学級

☆不登校児が通うのがつばき学級です。呉市内に3校あります。

【質問】不登校児153名が利用する「つばき学級」の運営費は3校でいくらか。

【答弁】消耗品費で30万円です。

【質問】3校で年間30万円、1校当たり10万円ということで維持費が大変少ないのではないかと思う。キャッチボールしようにもボールがない。画用紙を買うお金がないので広告の裏紙を使っていたことがある。補正でも増やす考えはないか。

【答弁】増やす予定はない。

【要望】庁舎に160億円もかけるぐらいなら、不登校児にも目を向けていただきたい。

図書館人件費

【質問】不登校の学校3校で維持費が30万円で、図書館の嘱託・臨時職員人件費が1億300万円ということだが、武雄市というところがあつて、民間が無人で運営している。本を借りるときは、図書カードを入れて本のバーコードかざしたら借りれる。本を購入するときは、本のバーコードかざして、お金を入れたら、横の袋に入れて持って帰れる。防衛大学校の図書館も無人で運営している。

呉市で無人化・民営化できないか。

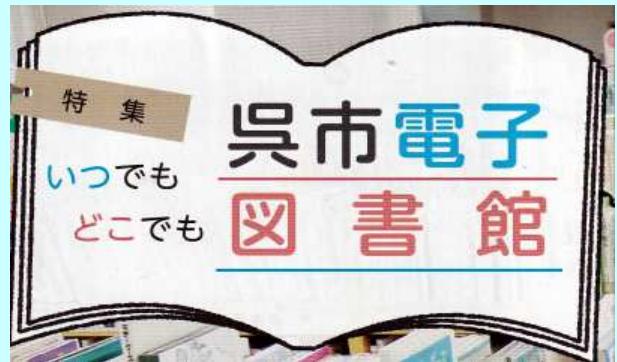
【答弁】図書館を構成するのは、まず本と人であると思っている。無人化という図書館のあり方は今の所考えていない。

☆熊野町は本にICタグが付いているので、自動貸出機の上に本を置くと機械が読み取ります。武雄市では利用者が機械の上に本を置くとバーコードを読み取ります。無人化・自動化しています。呉市が図書館で購入する本とCDは年間4200万円です。無人化・自動化すると、2.4倍の本が購入できます。

☆中古本の購入も提案しています。

岡崎の提案で実現

電子図書館



平成28年12月代表質問

【質問】図書館は、資料としての本を揃えておいて市民の文化程度を高めるのが第一目的であると思います。呉市70万冊の本は、テキストデータだけでしたら400ギガバイトくらいでノートパソコンのハードディスクに全部入ってしまいます。つまり、呉市七つの図書館全部の本もテキストデータだけでしたら1台のノートパソコンに入ります。デジタル技術はすばらしいと思います。このようなデジタル技術を活用して、図書館に行かなくてもデジタル化された本を借りることができるのが電子図書の貸し出しです。暗い部屋でも夜行バスの中でも読めます。視覚障害者には読み上げソフトがあります。

府中市、東広島市に次いで、呉市でも電子図書の貸し出しを開始してはどうか。

【答弁】電子図書は、紙媒体と異なりタブレットなどの端末を通して電子的に提供されますので、図書館の立地や開館日、時間の制限もなく、大変自由度の高い図書館サービスとして私どもも注目しております。仮に図書館の全ての図書を電子化できれば、資料の保存や利用の仕方が画期的に変わり、利便性の向上が大いに期待されるところですが、現在のところ無料提供できるコンテンツは著作者の死後50年経過したもの、つまり著作権が消滅した図書に限られるなど制約も多く、現時点で全国の公立図書館で導入しているのは約4%とまだ低い状況となっております。一方で、電子図書は多様なサービスの可能性を持っていることは間違いありませんので、引き続き研究してまいりたいと考えております。